



木頭子育てサロン ぱっぱクラブ 初開催

8月1日(金)、初の試みである子育てサロン『ぱっぱくらぶ』を木頭文化会館で開催。第1回目は2組の親子が参加し、「こんなサロンを求めています!」と感激してくれました。那賀町の保健師さんと栄養士さんの協力により、赤ちゃんの体重身長測定や発育相談等が行われたり、西田智恵子さん(スポーツ栄養学)を講師に招いて「離乳食とお母さんのご飯を時短で一気に作れて、栄養満点の食事作り」を体験したりしました。食材の野菜は地域の方々から提供していただき、地元木頭で取れた野菜をフル活用した、季節感あふれるメニューとなりました。



参加者からは、保健師さんたちとゆっくり話ができて、同世代の仲間と和気あいあいと時間を過ごせたことで、赤ちゃんとはばかり向き合っていた生活からしばし開放され、ストレス発散になったと喜ばれました。第2回目は9月に開催予定。次回以降も母親目線で日程や内容を工夫しながら、お母さんファーストの子育てサロンを開催していきたいと思います。

障がい者会合同 一日研修 ~ヒロシマ・ナガサキ原爆写真真 poster 展~



8月8日(金)、木頭・上那賀・木沢・相生の障がい者会で徳島県戦没者記念館へ『ヒロシマ・ナガサキ原爆写真真 poster 展』見学に行きました。参加した22名の会員の中には、県護国神社に初めて来たという参加者も多く、「終戦から80年の節目に、このような機会をもてたことはありがたい」という声が多く聞かれました。見学を進めていくうちに涙が止まらなくなった人や、「忘れてはいけないことだと再認識しました」という方もいました。



午後は、イタリアンレストランで昼食。普段あまり食べることのないメニューやマナーを知ることができました。最後に持木浩司法書士事務所(阿南市)にお邪魔して、バナナ栽培の様子を見学したり南国フルーツの育て方を教えてもらったりして、研修を終えました。

相生地区遺族会 戦没者慰霊忠魂碑参拝

毎年8月15日に行われている相生地区忠魂碑参拝行事が、今年も忠魂碑前で行われ、26名の会員が参加しました。8月15日は「戦没者を追悼し平和を祈念する日」でもあり、終戦から80年となる今年は、遺族会にとっても大きな節目となります。戦争体験者が80歳を超え、戦争を語り継ぐ人も非常に少なくなっています。これからも平和な日本を次世代へ継承していけるよう、地域や家庭、学校でも学び伝えることが大切であると感じました。

